

第636回

I B C 番組審議会 議事録

— 議 題 —

「ニュースエコースペシャル 平成の岩手をつなぐ

～次代への記憶と記録～」

その他、年末年始の番組全般

平成31年1月18日（金）

㈱ I B C 岩手放送

第636回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成31年1月18日(金) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 8名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 宮 順子 小松 務

栗田 均 佐藤 求

龍澤 尚孝 菅原 和彦

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

眞下 卓也 取締役放送本部長

中島 勝志 報道局長

中村 好子 報道部長

大志田 融 報道部副部長

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議題 「ニュースエコースペシャル 平成の岩手をつなぐ
～次代への記憶と記録～」(12月28日午後4時50分～放送)
その他、年末年始の番組全般

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 30年間の平成の時代にいろいろなことがあったと改めて実感した。構成は分野ごとに分かれていて、映像の選び方はもちろん良かったが、それぞれを総括するコメンテーターのインタビューが、その時代がどういった時代なのかを解説していてなるほどと思った。
- コーナーの合間に街の人の声を入れたのがすごくいいと思った。本音を聞けたというか、一般の皆さんの意見がよくわかってとても良かった。
- これからの岩手をどういうふうに築いていくのかについて、若い人たちの声ももう少しあっても良かった。
- 明暗がはっきりしていた30年で、良い方であれば大谷翔平のこともそうだが、スポーツや文化面で全国、世界に岩手を発信するすごく誇らしい話題がたくさんあった。一方、明暗の暗のほうはあれだけ大きな災害があった。また私が印象に残ったのは飲酒事故で子どもを亡くされた大崎さんのところ。未だに飲酒事故がなくならない。大崎さんの活動も含めてそこがすごく印象に残っている。
- 分野ごとにコーナーでまとめているので年代がバラバラだった。年代でまとめたらどうだったのか。例えば5年ごとにまとめるとわかりやすかったのかなと考えたりした。
- スタジオの照明が暗い感じがした。平成の岩手をつなぐというタイトルにもあるように、もう少し明るくても良かった。
- 「お年玉クイズいわてホットライン2019」を初めて見たが新鮮で楽しかった。アナウンサーたちのボケと突っ込みが見事で、普段のイメージとはまったく違い、これが本当の姿ではないかと思わせるような（笑）、ホットな番組だった。